

千葉県八千代市

北部遺跡群緊急発掘調査報告

1983・3

八千代市教育委員会

序 文

住宅と農業区域が混在する中で、昭和40年後半より急激な開発の進む本市にあって、文化財の保護・保存は急務と言えます。それは開発の好悪に係わらず生活環境の変化をとめない、今迄生活や自然の中で守られ、伝えられてきた伝承や文化が次第に、忘失・散逸・破壊などがありえるからです。そのため市教育委員会では文化財の所在地調査などを行ってみるところです。

ことに埋蔵文化財については千葉県教育委員会の御指導のもと、照会をとおしての事前協議制を確立するなど、その保存措置を事前に講じるための一助としてきました。そのような中で、国庫・県費補助を得て、調査を実施したものです。

調査の結果、私たちが予想していたものより以上の成果を得ることができました。先人たちの営んだ住居や、つくり、使った土器などをはじめ、吉橋伝説に係る地下式横穴墓群の検出など多大の成果を得ました。資料として本書はこれらの調査の結果をまとめたものですが、活用いただけるならば幸いです。

昭和58年 3月

八千代市教育委員会
教育長 大熊章一

